

SLL2/3シリーズ 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。




施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書も含め添付品をお客様へお渡しください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

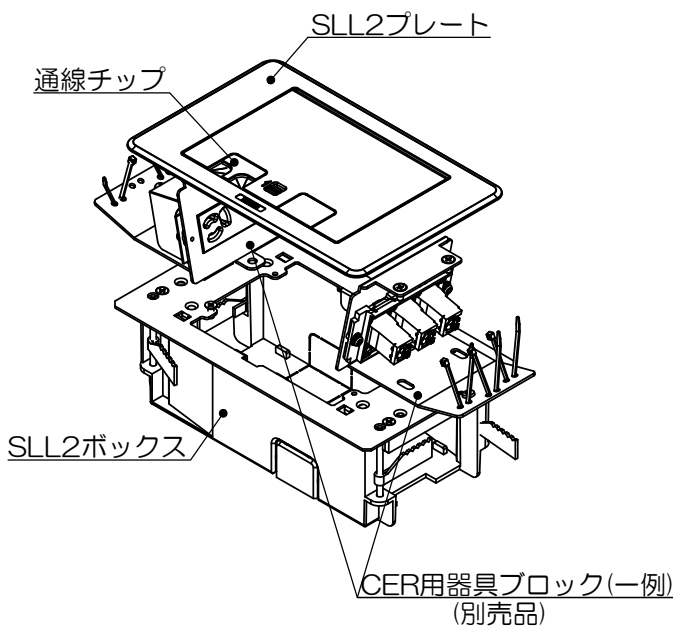
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

|  警告 | |
|---|--|
|  禁止 | ◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 |
| | ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。 |
|  必ず守る | ◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。 |
| | ◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 |
| | ◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。 |





|  注意 | |
|--|---|
|  禁止 | ◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。 |
| | ◆通行の障害となる様な場所や机の下部、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 |
|  必ず守る | ◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。 |
| | ◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。 |
| | ◆床に堅固に取り付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。 |
| | ◆テープ類の使用 ⇒養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしておきますと、粘着力が増しメッキや塗装が剥がれる恐れがあります。 |

◆部品構成と名称

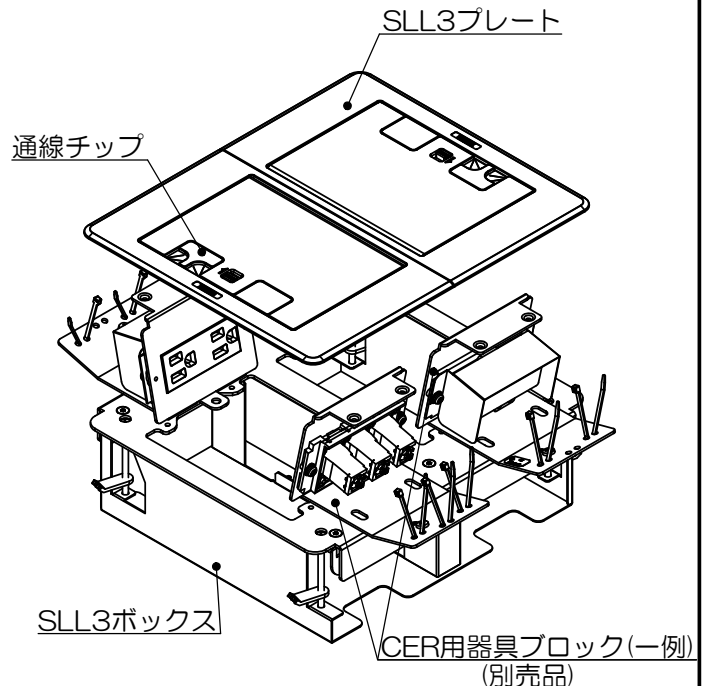
SLL2シリーズ











プレート固定用サラネジ M4×9 4本

添付品    

SLL3シリーズ



プレート固定用サラネジ M4×9 8本

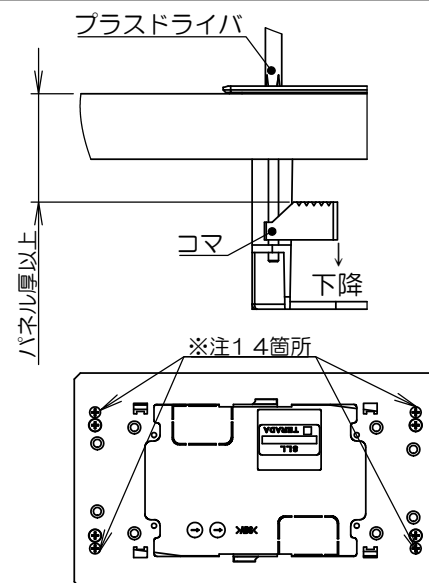
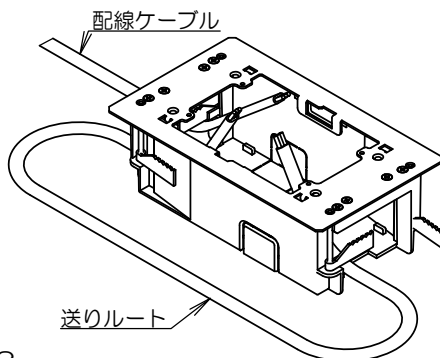
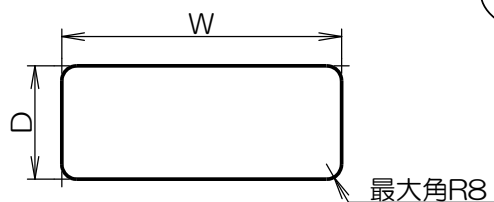
添付品    
   

施工方法

1 フロアパネルの開口寸法とケーブルの引き込み

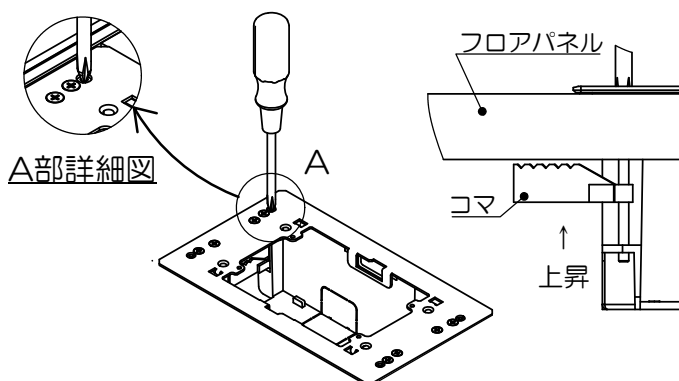
ボックス固定ネジ(M4※注1)を回し、コマがフロアパネルの厚みより下になるよう下げてください。(4箇所)
フロアパネル開口部にボックスを落とし込み、ボックスを固定する前にボックス内にケーブルを引き入れてください。(送りのルートもここで形成します)

- SLL2シリーズ
(D)110±2 × (W)235±3
- SLL3シリーズ
(D)232±2 × (W)235±3



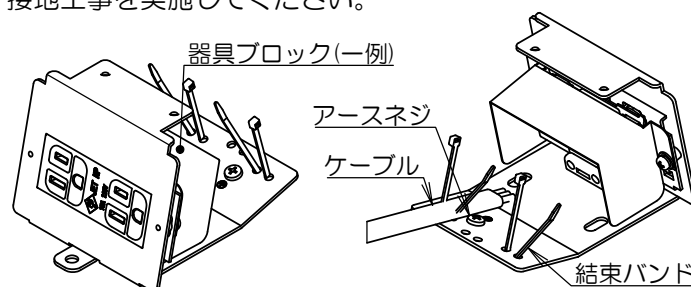
2 ボックスの固定

ボックス固定ネジ(M4※注1)を回す事により、コマを上昇させボックスをフロアパネルに固定します。(4箇所)
※施工可能パネル厚=2~26mm



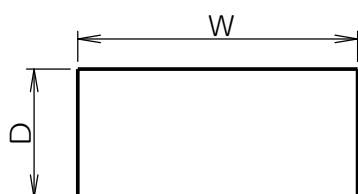
3 器具ブロックの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続します。配線方法については各器具の配線方法に従ってください。
強電系器具ブロックにはアースネジを設けてあります。必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。



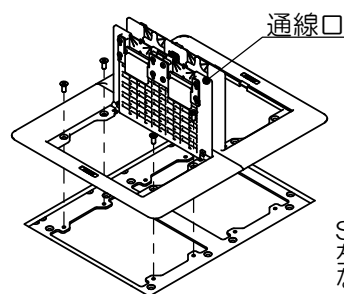
4 床仕上げ材の開口寸法

- SLL2シリーズ
(D)126±2 × (W)187±3
- SLL3シリーズ
(D)248±2 × (W)187±3



5 プレートの設置

フロアプレートを取付けてください。
SLL2シリーズのネジ止め：4箇所
SLL3シリーズのネジ止め：8箇所



SLL3シリーズの場合は左記の通り通線口が外側になるように取付けてください。

■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361